

診療情報提供書

先生 御机下

患者氏名 殿 歳

この度は大変お世話になります。

当院は東京にございます、精神科・心療内科診療所でございます。

上記患者が、当院の治療を希望されるにあたり、近医であられる先生にお願いしたいことがあり、ご連絡させて頂きました。

御存知の通りこの20年で、発達障害と診断される子ども、子どもを虐待する母親は7~8倍に急増しております。

当クリニック院長埴美由貴は、急増する発達障害児や育児困難の母親と、食事習慣との関係に注目しております。

母親の場合

若い女性のダイエット指向の増加に伴い、妊娠前から食事習慣に問題があったり、タンパク摂取量が少なかったり、貯蔵鉄量が充分でない等のまま妊娠した場合、出産後、育児困難となりやすい傾向があります。

育児困難を示す母親の鉄状態と治療

当院では、子どもを虐待する母親のほぼ全例に低フェリチン値を認めます。

治療として鉄の補充（当院ではヘム鉄を使用します）を行います。

これにより、子どもへの虐待が改善したという症例を何例も経験しております。

フェリチン値

日本人の基準値は、25ng/dl とされておりますが、基準値とは平均値のことですので、日本人女性が皆鉄欠乏状態にあるため低い数値が基準値とされてしまっており、フェリチン理想値は85ng/dl 以上と考えています。

子どもの場合

自閉症スペクトラムと診断される子どもが15年で7倍と急増しています。

当院では、発達障害を疑う子どもと、その母親には血液検査を実施しています。

母親が低栄養 低フェリチンのケースがほぼ全例に見られ、子ども自身も低フェリチン低亜鉛 低コレステロール等の栄養状態の問題傾向がほぼ全例に見られます。

発達障害の子どもの治療 食事習慣に問題を抱えている場合が多く、食事の改善を指導します。

次に、血液検査のデータを参考に、鉄 亜鉛 EOADHA ビタミンB群 等をサプリメントを使って補充します。

食事の改善とサプリメントで、多動や学習の遅れ等に改善を認めるケースが増えています。

サプリメントの処方に関して

医療用の高濃度のサプリメントを使用します。

市販のサプリメントは、低価格ですが、材料に問題があったり、内容量が低すぎる等の理由で効果が期待出来ませんので、医療機関専門の高濃度のサプリメントを使用します。

サプリメント治療

オーソモレキュラー療法と言って、アメリカでは先端医療ですが、

日本では健康保険が使えないこともあり、まだ余り一般的ではありませんが、

薬物治療に比べはるかに安全で、効果も期待出来るものと存じます。

サプリメントの無償提供の活動

医療用サプリメント治療は非常に効果がありますが、健康保険が使えないため、患者さんの負担する費用はそれなりにかかります。

みゆきクリニック院長埴美由貴医師は、患者さんの負担軽減を目指して、「一般社団法人育児と子どもの発達を考える会」を設立し、子どもを虐待する母親と、12歳までのお子様
に、無償でサプリメントを提供する活動を行っております。

活動資金が充分ではないため、お一人様 1 種類のサプリメントしか無償でご提供出来ない
のですが、血液検査の結果を基に、優先順位を決めて、無償提供しております。

血液検査のお願い

どのようなサプリメントを処方するべきか、血液検査の結果を基に判断致します。患者は貴地にお住いですので、当院まで採血に来院するのが遠方であることから、近医である貴院での血液検査を希望しておられます。

血液検査費用は自費になるかもしれないことは、患者にはご説明してあります。

お忙しいところ大変恐縮ですが、血液検査をお願い出来ましたら幸いです。

何卒ご高配を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

108-0074 東京都港区高輪 4-21-16 電話 03-5447-1236

みゆきクリニック 埴美由貴

お願いしたい検査項目

W B C

R B C

血色素

血小板

ヘマトクリット

MCV

MCH

MCHC

総タンパク

A/G比

総ビリルビン

A S T

A L T

γ G T P

A L P

L D H

中性脂肪

L D L

H D L

B U N

クレアチニン

G F R

カリウム

カルシウム

マグネシウム

血清鉄

銅

亜鉛

フェリチン

U I B C

C R P

H b A 1 C

1.5A G

T S H T 3 T 4

25-OH-VD